

新宮山彦ぐるーぷ第2307回

深仙宿、大日岳の靡看板交換など

◇実施日 7月25日(木)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

深仙宿避難小屋の携帯電話充電器にUSBケーブルを取り付けに行く必要があったところに、村吉さんから深仙宿と大日岳の靡看板交換を依頼され、一石二鳥と引き受けて深仙宿に向かった。



登山口を出発



深仙宿に着く



大日岳に向かう

平野部では連日35℃の猛暑が続いているが、太尾登山口からの登山道は27℃位で涼しいといえれば涼しいのだが、歩くとやっぱり汗が出る。水は1リッター持って行ったが、あと500ccは欲しかった。

いつもよりペースを落として歩き、休憩も多めにとつて3時間少しで深仙宿に着いた。大日岳の看板だけを持って大日岳に向かった。

交換に行く前、村吉さんから連絡があり 看板に屋根を付けたので、支柱の杭に当たるかもしれないと聞いていたので、ノコとボルトの穴を明け直すための電動ドリルなどを担いでいったので、工具だけで2kgほどの重

さになった。大日岳の山頂に着き新しい看板を当ててみると、屋根は支柱よりも上になり、支柱を切ることもなく穴を明け直す必要もなかった。



大日岳に着く



交換完了



聖天の森

10分ほどで交換は終了し深仙宿に戻る。途中の聖天の森の靡看板も文字が剥がれてしまっている。

深仙宿に着き、小屋でパンを食べながらUSBケーブルを取り付ける。ソーラー発電の状態もチェックしたが、特別問題は無いようだった。ゆうゆうバス運休のお知らせを外して灌頂堂に移動し、看板の交換を始める。



深仙宿の看板



ボルトを外す



交換後、本日の参加者

こちらでも屋根は支柱より上で、ノコの出番はなかったが、ボルトが少し短かった。穴の裏側を1cm位深くして取り付けた。古い看板は新しいものより大きくて重い。2枚を担いで帰るのはしんどいので、お堂に置いて深仙宿を離れた。後日、古い看板は再利用しないと分かったので次回行った時に現場で処理しようと思う。午後3時に下山を始めるつもりだったが、15分ほど遅くなったので、香精水もかくし水も確認しなかった。古田の森前後で4月に刈った笹が再び勢いを増し道を覆っている。早朝や雨の後はずぶぬれになりそうだ。太尾登山口に着くと停まっていた車が入れ替わっていた。和歌山ナンバーの車で、ご夫婦らしい二人だった。車内で眠るよう
で女性は食事の準備をしていた。着替えながらしばらく話をして20分を費やした。
(記：梶野)

行動タイム

太尾登山口 09:25→11:03 古田の森→11:48 千丈平→12:30 深仙宿→
13:19 大田岳 13:33→14:15 深仙宿 15:15→16:03 千丈平→16:42 古
田の森→18:00 太尾登山口